

# 吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る 公共用水域等の継続モニタリング結果について

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る令和6年8月の公共用水域等の継続モニタリングの結果は、次のとおりでした。

## 1 調査日

令和6年8月1日(木)

## 2 調査結果\*

(単位：ng/L)

調査地点	令和5年		令和6年			
	10月	12月	2月	4月	6月	8月
西側沢F1	62,000	—	54,000	—	—	72,000
西側沢E2	55	—	25	—	—	85
西側沢B2	4,600	3,100	2,500	10,000	11,000	4,800
河平ダム	1,100	1,100	960	960	1,400	1,600
山王橋 (日山谷川)	460	470	320	560	370	320
大下橋 (宇甘川)	15	13	11	29	24	15
宇甘溪 (宇甘川)	—	—	—	34	19	16
地下水① (山王橋付近)	390	—	340	—	—	410
地下水② (大下橋下流)	—	—	—	5.1	—	<5

※ PFOSとPFOAの合計値であり、公共用水域及び地下水の要監視項目として、暫定指針値50ng/L以下が設定されている。

注) 調査頻度：西側沢F1、西側沢E2、地下水①及び地下水②は、8月及び2月  
西側沢B2、河平ダム、山王橋、大下橋及び宇甘溪は、偶数月

## 3 今後の対応

濃度は、一定の変動があると考えており、吉備中央町原因究明委員会に調査結果を報告し、専門家の意見も踏まえながら、モニタリングを継続(次回は10月の予定)して今後の濃度の推移を注視していくとともに、町と協力して原因究明に取り組む。

公共用水域等の継続モニタリング地点及び結果

